

県連ニュース

2023年2月 NO-547号



『マンサクの緑と松川の谷』

滋賀県勤労者山岳連盟

2023年2月号 目次

リレーエッセイ 『緑の目利き』

<案内>

近畿ブロック搬出技術講習会の案内

<報告>

交流山行 二上山 湖南岳友会

余呉・南越前ウインドファーム事業公聴会報告

第8回理事会議事録

ぐうたら会長のつぶやき

行事予定 2～4月



表紙の写真『マンサクの緑と松川の谷』
撮影者 山の会 オフトレイル T.N.

緑の目利き

「目利き」という言葉があります。

広辞苑によれば、「器物・刀剣・書画などの良否・真贋をみわけること。鑑定。また、その人。」「人の才能・善悪などを見分けること。」を意味するそうですが、単に見分けるだけでなく、人にはわからない違いから特別な意味や価値を見出すところに、その役割がありそうです。

最初はどれも同じに見えていたものが、経験を積むにつれ、他から際立った特徴のかたまりと捉えられるようになり、ついにはその特徴を味わうためだけに手に取るようになります。

山も同じではないでしょうか？

骨董などとは違って、歴史的価値や金銭的価値を求められることはないパーソナルな世界ですが、通うにつれて図が地から精妙に分離していき、いつしかその人にしか見えないかけがえのない景色を持った場所になっていくのだと思います。

僕は、緑(=樹木)が好きで山に入っているのですが、一口に緑と言っても濃淡・明暗無限のグラデーションがあります。

木々の1本1本を見てみれば、純粋な色だけでなく葉の形や葉脈の出方、表裏の肌触り、光の透け具合から、枝の風合いに至るまで、「神は細部に宿る」といわんばかりの奥深い変化に富んでいて、いくら見ても見飽きることがありません。

そんな中から、近年嬉しかった発見をひとつ。

春に「まず咲く」ところから名付けられたという、「マンサク」と呼ばれるポピュラーな木があります。写真を検索すると、紐状の特徴的な黄色い花が印象的で、春を告げる山の風物詩として、みなさんもよく思い浮かべられるのではないのでしょうか？

しかし、僕はこれまで、この木の春先以外の季節の姿を意識して調べたことがありませんでした。

それがあつ時、低山で時々見かける、ちょっと他にはない菱形の葉が生き生きとした緑を際立たせている、まさにその木がマンサクであることを知りました。

マンサクの葉は力強い濃い緑ですが硬過ぎず、葉脈の深い襞に映える実に美しい艶を持っています。

ご存知の方には何のことはないかもしれませんが、それがよく聞き知った「マンサク」の名と結び付いた時、僕の中にあるマンサクのイメージは急に豊かなりアリティをおび、それだけで、僕にはこのマンサクという木が特別な親しみを感じさせる樹木になりました。

そういう経験を繰り返すうちに、山というものは、ただ何となく不安を抱かせる抽象的なブラックボックスから、より積極的なコミュニケーションを期待する表情豊かな相手へと変化していくのではないのでしょうか？

それは僕にとっては、女性とお付き合いするのと少し似たところがあるかもしれません。

ただ残念なことに、樹木は季節や気候、場所によってあまりにも姿が違い、僕はしょっちゅう人(樹木)違いを起こします。

だから、いつまで経ってもまともな「目利き」にはなれないのですが、その分、知る楽しみも多く残されているということで、山を引退するまでに、少しずつイメージの断片を紡ぎ合わせていけたらと思います。

分け入っても果てのない山の懐の深さに乾杯！

(山の会オフトレイル T.N.)

第42回 近畿ブロック搬出技術講習会のご案内

岩搬出、岩のセルフレスキューコース【事前申し込み制】

- 日時 2023年4月2日(日) 8:00 受付開始 8:30 ~ 15:00 ごろ
- 場所 百丈岩やぐらおよび百丈岩周辺 (JR 道場駅より徒歩約 30 分)
- 内容 岩場でのセルフレスキュー、コンパニオンレスキューの実践を学ぶ。
- コース いずれのコースも事前受付となります。
 - ・岩班 (初級者コース) 募集人員 10 名
 - ・岩セルフレスキュー班 募集人員 5 名
 - ・岩班 (経験者コース) 募集人員 10 名
 - ・尾根班 募集人員 10 名
- 装備 ・ヘルメット*、ハーネス*、自己確保用装備*、確保器*、安全環付カラビナ*、デイジーチェーン又はパス*、カラビナ*、クイックドロワー*、スリング*、アブミ、ハンマー等
*は必須装備です 上記の他、各コースとも一般装備 (行動食、水筒、雨具等) 必要。
- 対象者
 - ・岩登り山行リーダー等の方で学んだレスキュー技術を会の中で伝達する意欲のある方
 - ・「岩セルフレスキュー班」は搬出技術講習会の参加経験者で主に岩登りをされる方が対象です。
- 参加費 1000 円
- 前回のテキストをお持ちの方は持参してください。当日、必要な方は 500 円で販売します。
- 前夜泊は鎌倉峡河原にてテント泊可能です。(場所に限りがあります)
- お車でお越しの方へ、当日はたくさんの参加者が予想されます。出来るだけ公共交通機関をご利用下さい。車の場合は、道場駅前の駐車場もしくは鎌倉茶屋管理の奥の駐車場 (いずれも有料) をご利用下さい。道場駅からやぐら前まで路肩は駐車禁止とします。百丈岩やぐら前は講習会場として使用しますので駐車できません。夜間遅くに来られる方は、近隣住民の方へのご配慮をお願いします。

初級コンパニオンレスキュー班【事前申し込み制】

- 日時 2023年4月2日(日) 8:30 受付開始 9:00~15:00 雨天決行
- 受付実施場所
大文字山安祥寺林道入り口 (JR 山科駅から徒歩 30 分 地図参照)
- 持ち物 山行時の装備一式、及び、ヘルメット、緊急時に備えて常々携行しているスリング、カラビナ、細引き
- 内容 細引きの結び方、簡易ハーネスの作り方、カラビナスルー、事故者の所まで行くために細引きで丸結びを使った斜面の降り方登り方の技術習得
- 対象者 ハイキングの山行リーダー等の方で学んだレスキュー技術を会の中で伝達する意欲のある方。受講者最大 60 名で各府県連 10 名を限度とします。
- 参加費 1000 円
- 前夜テント泊は不可です。講習会実施場所付近は駐車不能です。山科駅周辺のビジネスホテル、コインパーキングをご利用下さい。
- 今回使用する講習会テキストは現地でお渡しします。

各コース共通事項

- 参加条件：労山基金、又は、それに準じる山岳保険加入者
- 雨天決行です。前日の夜の 21 時時点で警報発令時は中止します。

- 新型コロナウイルスの感染拡大の状況を判断し中止と判断する場合があります。
- 講習中の事故等に対しては自己責任でお願いいたします。
- 各コースともヘルメットの無い方は参加できません。

申し込み方法

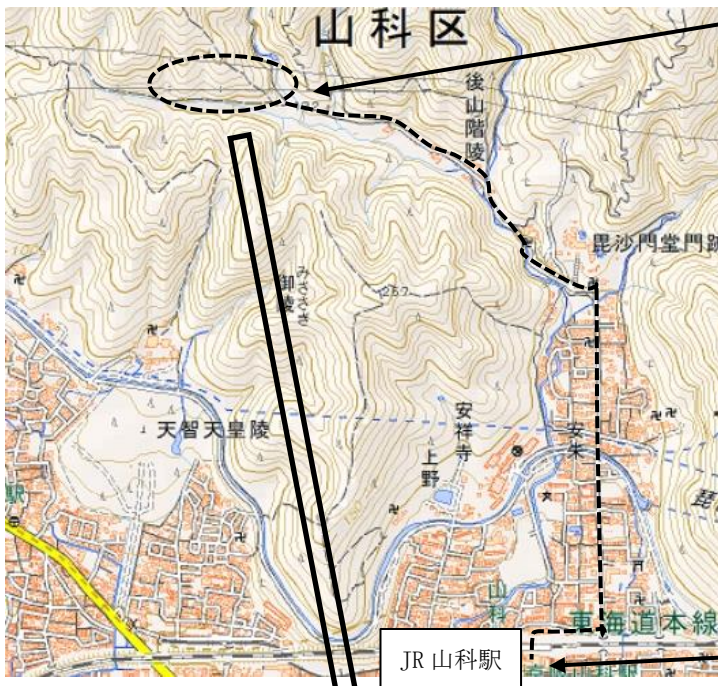
申し込み締切日：3月5日（日曜日）先着順で募集人数に達した場合は締め切りさせていただきます。
 参加ご希望の方は所属会に申し込んで下さい。会は参加者を集約して集約申込書を下記メールに送って下さい。
 なお、参加ご希望の方は個人ごとに事前申込書を下記メールに送って下さい。事前申込書は受付の混乱を避けるためにコピーして現地に持って来て下さい。

★集約申込書と事前申込書は別途、各会にお送りします

問合せ先・メール送信先

滋賀県連 窓口 搬出技術講習会事務局 shigarosan@gmail.com

初級コンパニオンレスキュー班 受付場所、講習会場所

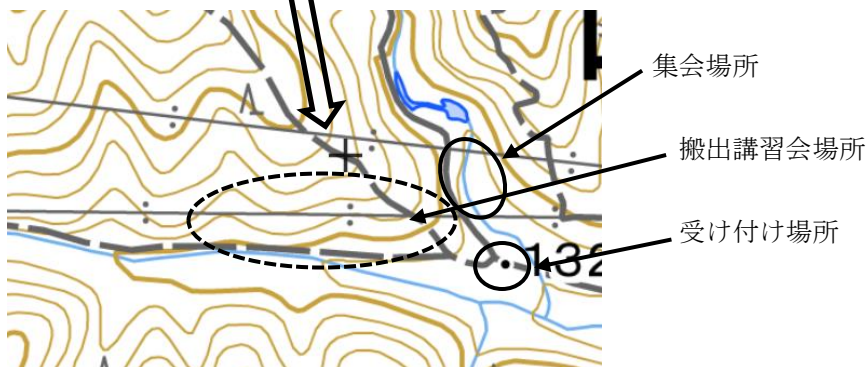


受付、講習会場所：安祥寺林道入り口
 山科駅から歩いて30分

車で来られる場合は山科駅周辺のコインパーキングに停めて歩いて受け付け場所まで来て下さい。

講習会場所にトイレはありません。ナチュラルをご承知おき下さい。

開札口を出て東側のトンネル通路を通過して駅の裏口に出て下さい



2023年度 第42回近畿ブロック搬出技術講習会 事前申込書

(所属会には個別に申し込みして下さい。)

★事前申込書は下記に送って下さい。事前申込書受信で申込完了となります。

★受付の混雑を避けるために講習会受付時に申込書のコピーを渡して下さい。

該当箇所にチェックを入れて下さい。

ふりがな 氏名	
所属山岳会名	
参加種別	<input type="checkbox"/> 一般で参加 <input type="checkbox"/> 講師・スタッフで参加
申し込み コース	<input type="checkbox"/> 岩初級班 定員10名 <input type="checkbox"/> 岩経験者班 定員10名 <input type="checkbox"/> 岩セルフレスキュー班 定員 5名 <input type="checkbox"/> 尾根班 定員10名 <input type="checkbox"/> 初級コンパニオンレスキュー班 各府県定員10名
参加経験	<input type="checkbox"/> ある(回目) <input type="checkbox"/> 今回が初めて
メモ	

講習会参加費は1000円です。

岩尾根セルフ班は前回の講習会テキストを持参して下さい。当日、必要な方は500円で販売します。2019年度分をお持ちの方は訂正箇所のコピーを無料で受付でお渡します。

初級コンパニオンレスキュー班のテキストは受け付け時に無料でお渡します。従来の講習会テキストは不要です。

メール送信先 滋賀県連 窓口 搬出技術講習会事務局 shigarosan@gmail.com

受け付け時に上記のコピーを渡して下さい。



-----切り取り線-----

緊急時に備えて留守宅を記入して下さい。講習会終了まで各府県連担当者とへ府県連講習会参加責任者が保管します。

個人情報保護のため講習会終了後、コピーと電子データを破棄します。

留守宅	氏名		続柄		携帯番号	
-----	----	--	----	--	------	--

11 月交流山行報告

二上山（交流山行）

CL、S SL、O

日時：2022 年 11 月 6 日（日）

参加者： 岳友会 9 名

（比良雪稜会）、 2 名

天候：晴天

行程：近鉄京都駅改札口集合 8:00 近鉄二上神社口駅 10:00 発→雄岳 11:16→

雌岳 12:00（昼食）→岩間峠→当麻寺 14:03→近鉄当麻寺駅 14:32

報告 関西百名山であり古代史の名山です。秋晴れの最高の晴天の中最初から階段の登りが 1 時間位尾根まで続く、雄岳を経て雌岳でゆっくりと昼食を楽しむ、各所からのルートも種々あり、何処からともなく多数の人が行き来している、地図読みの良い勉強になりました。当麻寺に寄り国宝の本堂や東西双塔、中将姫像等古刹に詣でて余韻を残し帰路。（報告 WY）



二上山山頂集合写真



ラクダの様な二上山

一口感想

奈良葛城の里山は木々の葉が少し落ち、また、枯葉も少し積り哀愁と郷愁が交わり私が山歩き人生の中で最も大切にしている季節でして心地よく歩けました。

ただ少し残念なことはハイカーの多さで、もう少し山の静寂な中に浸りたかったのですが人気の山であり、私個人の所有地でもないので仕方ないかもですね。

最後に、CL・SL・参加者の皆さま、大変お世話になり有難うございました。（T）

日本史の本を読んでいると二上山は良く出て来るので、一度行ってみたいと思っていました、当麻寺も宗派の違うお寺の集まりとは知りませんでしたビックリ、この様な例会も嬉しいです。（WY）

(仮称) 余呉・南越前ウインドファーム発電事業 環境影響評価準備書に係る公聴会に参加して

公聴会は、滋賀県が余呉・南越前ウインドファーム事業について、昨年に事業者から提出された事業の内容(準備書)縦覧について、県民等からの意見について、事業者からの見解についての県民の意見を聞く場として、1月7日に長浜市役所であった。平成30年に事業表明してから手続きは進み、本年3月21日までに知事意見を、審査会や公聴会意見も踏まえて経済産業大臣に提出すると県側から説明があった。手続き的には滋賀県が関与できるのは一応これが最後らしい。

私も含めて、計8人の県民等から意見が出された。全てこの事業に反対や強い危惧感を表明するもので、私の意見(公述という)は、①この事業によって、限りなく土壌の損壊等による災害の可能性が高くなる。昨夏の福井県南部・滋賀県余呉の集中豪雨等近年温暖化がもたらす異常気象は更に危険性を増している。②生態系の破壊により、稀少鳥類のイヌワシ、クマタカの棲息が危ぶまれる。そのほかクマ、イノシシ、シカの被害が周辺地域に拡大する。③工事費の高騰や再エネ賦課金制度変更等により事業の経済的継続性が危ぶまれ、固定価格買い取り期間が終わっても施設の維持や土砂崩れ等の対策の保証がない。④メガ風力等再エネは本当にトータルで温室効果ガスを減らせているのか疑問。を述べた。

他の方もしっかり問題点を指摘されたが、印象に残ったのは、高時川漁協組合長の阪田氏と日本イヌワシ学会の須藤氏の意見(公述)だった。

そのうち、阪田氏は、昨年8月4日の福井県南部(今庄地域)と余呉地域を襲った集中豪雨災害は被害は大きく、高時川支流の大音波谷川は10月もまだ濁水が治まらず(現在も続いているようである)

原因は、閉鎖されたベルグ余呉スキー場の盛り土崩壊等による大量の土砂流失によるものである。(写真参照)しかし、滋賀県はそのスキー場の開発を許したものだから、未だにはっきりと原因を認めておらず、今は調査委員会の報告を待っている。ベルグ余呉スキー場跡地にまさしく風力発電が建設される計画となっている。(地図参照)滋賀県側だけで高さ188mの風力発電タワー19基、工事用道路は幅員4mだが、法面の改変面積も含めると20数m。44カ所の沈殿池、31カ所の変電所、30カ所の排雪地も含めると尾根筋などの改変は凄まじいと思う。遠くから見ていると単に風車が回っているように見えるだけだが.....。

須藤氏も、業者がまだアセスの段階なのに工事道路を作り(南越前側でも)、業者側の環境調査でチシマザサとかの種類の間違い(根本的な間違いらしい)。或いは業者が環境調査を委託している日本気象協会は岩手県大船渡で風力発電のアセス調査で本来確認されているイヌワシを報告しなかったり、非道い組織だと報告されていた。この点は環境省も非道い組織との認識とのこと。アセスをやり直して貰いたいとの思いを吐露されていた。

なお、先日今庄を訪れたが、昨夏の豪雨災害で今庄から余呉へ通じこの風力発電計画地付近も通るR365は、山間部での災害のため未だに復旧していない。また、南越前町議会は、この事業に対して異議を可決している。

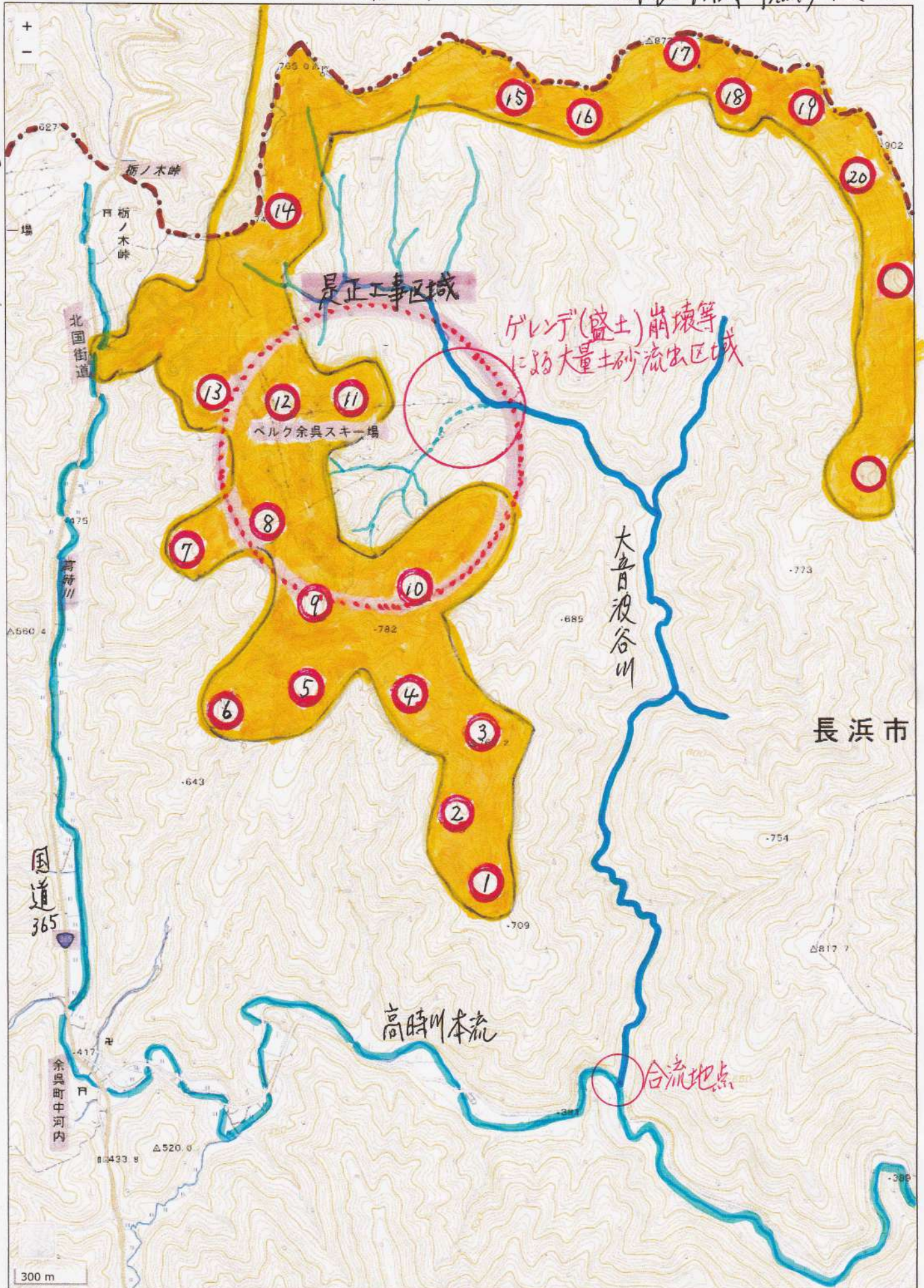
風力発電事業計画地(流賀母側)

地図・空中写真閲覧サービス

と旧ベルクスキー場の位置図

(作製 高時川漁協 阪田)

県境



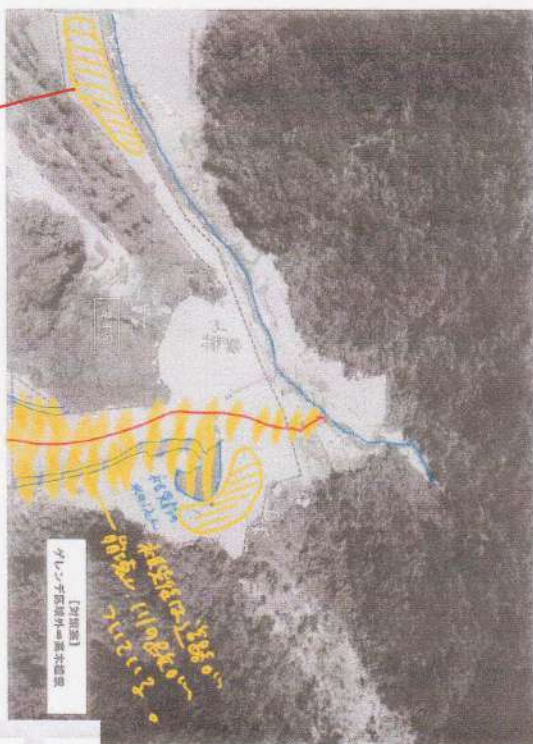
○ 風力発電機設置予定場所 ● 対象事業実施区域

高時川本流と大音波谷川の合流地点のようす

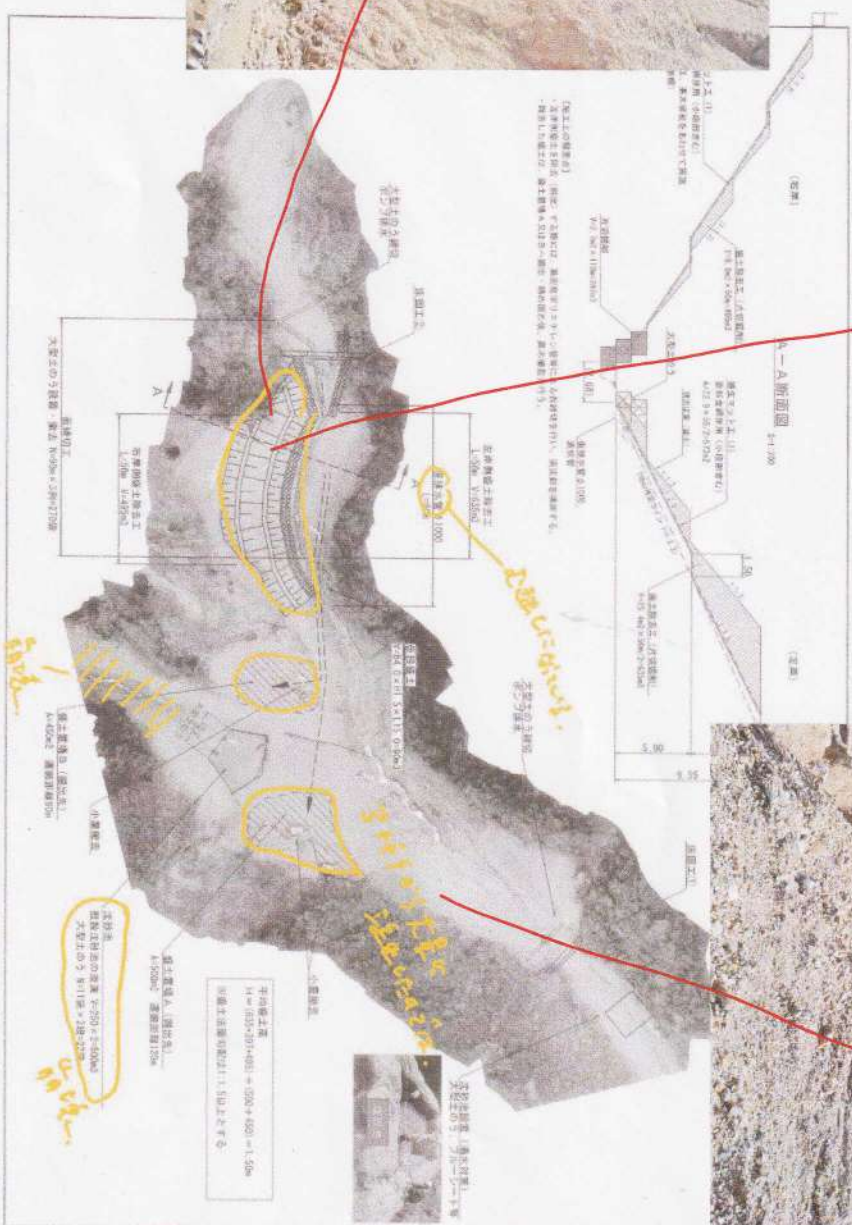
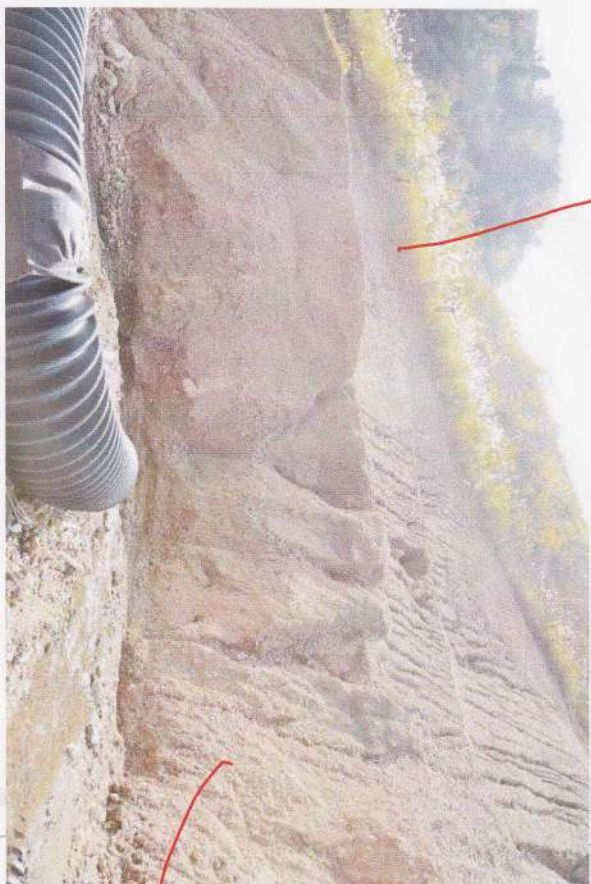
◆記録: 大音波谷川で泥濁り、本流で濁りなし。

◆降雨: 前日の10/7に中河内で47mm(24時間雨量)の降雨。





西側から堤正箇所（探検）冬景⑦



2022年度 第9回 理事会(ZOOM併用) 議事録

日時 2023年1月10日(水) PM7:00~8:45 明日都浜大津1F フリースペース

□出席者 友永・田中武・田中利・川嶋・宮内

□欠席者 村田・藤野

□ZOOM参加 上澤・山元・川口・菅

議題

- 3/5 第47回定期総会 議案書 活動報告・活動計画案について検討
2022年度 活動報告と計画案を読み合わせる
文体を統一して、配信後確認、気が付いたところは次回25日までに再修正する。
- 3/5 講習会(総会当日午前中)の内容に関して 内容について、提案があればお願いする
次回25日案を出して、検討する
対象 1.山岳会について知りたい人
2.登山に興味を持った人、登山を始めた人
座学と実技のセット 3/5 座学のみ・別途山行を企画
- 3.継続して「2023年度 初級登山教室を実施する 次回25日に詳細資料提出する
- 4.財政部から 仮決算報告で説明を受ける

5.各部からの報告

機関紙部・・・県連ニュース2月号(1/15㍻切)

○リレーエッセイ・写真 (山の会オフトレイル)

○その他 交流山行報告 11/6 岳友会「二上山」送信済み

4/2 近畿ブロック搬出講習会の案内 宮内から入稿

自然保護部・・・1/7 長浜市役所で開かれた

「滋賀県が余呉・南越前ウインドファーム事業についての公聴会」報告。

私(田中武範)も含めて、計8人の県民等から意見が出した。全てこの事業に反対や強い危惧感を表明するものであった。

高時川漁協組合長の阪田氏と日本イヌワシ学会の須藤氏の意見は、強く印象に残った(公述)であった。

県連メーリングリストで流しましたので、各会会員に情報共有をお願いします。

組織部・・・

○12月末の会員数

合計人数 比較 ↓	山友会		岳友会		雪稜会		ちごゆり		彷徨		シヤクナゲ		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
	30	36	18	11	24	19	7	11	5	3	3	2	87	82
12月/11月	66	64	29	29	43	43	18	18	8	8	5	5	169	167
		2		0		0		0		0		0		2

合計 169/167 (2022.12/2022.11)

財政部・・・1/25 理事会までに、理事交通費の請求をお願いしたい。 財政・田中利彦まで
教育遭対部・・・今年度の初級登山教室のスタッフとして、教育遭対部から理事2名が協力した。
初級登山教室が次年度も継続ということになったが、
スタッフの確保をお願いしたいという意見が出されました。
県連としても 各会からスタッフとして参加できるという積極的な会員を会から推薦していただきたい。

6.今後の理事会予定等

- 1月 1/10 水曜 1/25 水曜 理事会(ZOOM併用理事会) 開催。検討会議
- 2月 日 会計監査
- 2月15日 第2回代表者会議 総会資料の最終案をまとめる。明日都浜大津 大会議室
- 3月5日 第47回定期総会 大津市ふれあいプラザ 午後～
- 同日 4回目「内容未定」(会員拡大につながる内容を検討) 午前中
- 1回目 2020年10月11日(コロナ感染のため、3月総会当日予定が延長に)
内容 1.山靴と歩き方 2.ザックの選び方とパッキング
3.服装について 4.ペース配分と休憩
- 2回目 2021年3月7日 総会当日午前中を活用
「概念図を作ろう」(コロナ禍のため会員向けに):
- 3回目 2022年3月6日「安全登山の講習会」
内容「ハイキングの楽しさ」
「読図は面白い」
「山岳会に入るメリット」

7.全国連盟の会議予定等の連絡事

○2023年2月18日～19 第35期第1回評議会 (友永会長出席予定)

次回 1月25日(水) 第10回理事会(ZOOM併用) 主に議案書検討会議
明日都浜大津 フリースペース

ぐうたら会長のつぶやき

皆さんは山の高さを言う時にどうしても最高峰を思い浮かべるでしょうが、2 番目に高い山の名前はなかなか思い浮かばないでしょう。富士山が日本で一番高い山ですが、2 番目が南アルプスの北岳だということを知っている一般の人はなかなかいません。そこで今回は 2 番目に高い山はという話題です。

まず滋賀県ですが伊吹山が一番で、金糞岳が 2 番目と知っている人はたくさんいるでしょうが、県境を外して県内にある 2 番目に高い山はご存知ですか？ それは雨乞岳です。では一番高い山はどこでしょう。お暇でしたら調べてみてください。

近畿圏ではどうでしょう。大阪府は剣尾山(784m)、京都府は地蔵山(947m)、兵庫県は植松山(1191m)、奈良県は弥山(1895m)、和歌山県は臼ヶ岡山(1162m)です。植松山とか臼ヶ岡山なんて日本山名事典で調べるまでどこにあるか知りませんでした。

富士山を持つ静岡県は奥聖岳(2982m)、山梨県は中白根山(3055m)です。ここまで来たついでに、全都道府県の 2 番目に高い山を調べてみました。北から順に北海道は北鎮岳、青森県は大岳、岩手県は早池峰山、宮城県は南屏風岳、秋田県は男岳、山形県は七高山、福島県は会津駒ヶ岳、茨城県は筑波山、栃木県は女峰山、群馬県は笠ヶ岳、埼玉県は東仙波、千葉県は鹿野山、東京都は高丸山、神奈川県は桧洞丸、新潟県は妙高山、富山県は雄山、石川県は四塚山、福井県は荒島岳、長野県は御嶽山、岐阜県は乗鞍岳・屏風岳、愛知県は井山、三重県は国見山、鳥取県は須賀ノ仙、島根県は安蔵寺山、岡山県は花知ヶ仙、広島県は十方山、山口県は小五郎山、徳島県は一ノ森、香川県は矢筈山、愛媛県は二ノ森、高知県は白髪山、福岡県は障子ヶ岳、佐賀県は作礼山、長崎県は野岳、熊本県は阿蘇高岳、大分県は久住山、宮崎県は白岩山、鹿児島県は永田岳、沖縄県は与那覇岳です。皆さんは幾つ知ってますか？ ちなみに私はこのうち 18 個登っていました。

滋賀県の山をもう少し詳しく調べてみましょう。最高峰は言うまでもなく伊吹山 1377m ですが、最低峰は大日山 129m だそうです。どこにあるんだろう？ 石山寺駅南南東3km にあり山頂に大日寺があるそうです。

日本山名事典には滋賀県の難読山名として太神山、日計山、湧出山の三つが掲載されています。もちろん皆さん読めますよネ。一等三角点があるのは二つだけです。伊吹山と蓬萊山です。もっとマニアックに滋賀県の標高が日付の山は、牟礼山 221m、田上山 323m、高室山 818m、己高山 923m、白滝山 1022m があります。詳しく調べればもっとあるかも？ 当日に登ってみてはいかがですか？

もう一つおまけに、ゾロ目の山があります。長命寺山 333m です。これも調べればもっとあるかも・・・。

2 万 5000 分 1 地形図は 4400 枚あるそうです。それを一枚一枚調べてこんなデータを導き出した人がいます。よっぽど暇だったんでしょうネ。武内正さんという方です。

機会があったら別のデータをお知らせします。

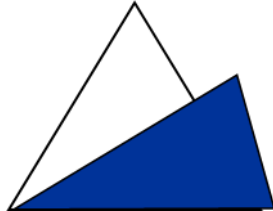
行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
	3-5	佐渡山山スキー・妙高ゲレンデスキー(スキーネット)		4~5	北八ヶ岳	岳友
				5	綿向山	ちご
	15	代表者会議(明日都浜大津)		5	才例会「如意が岳～宇佐山」	山友
2				11-12	银杏峰	OT
	18-19	氷ノ山山スキー(スキー協行事 スキーネット)		18~19	野伏岳	岳友
				19	第44回定期総会	雪稜
				26	マンダラ山	ちご
				26	天王山～サントリー工場	雪稜
	5	第47回定期総会(大津ふれあいプラザ) 午前中 講習会		4	取立山	岳友
				4	福井鬼が岳	OT
				6	六甲山系七兵衛山	雪稜
	10-13	鍋倉山スキー・妙高ゲレンデスキー(スキーネット)		12	梅 お花見	ちご
3				12	明神岳	岳友
				19	ハイキング部例会	山友
	24-26	妙高ゲレンデスキー(スキーネット)		25	定期総会	岳友
				26	京都北山 沢山	ちご
				26	ダイトレ縦走 紀見峠～金剛山	雪稜
	2	近畿ブロック搬出講習会		2	孫太尾根～藤原岳	岳友
				9	鈴鹿 霊仙山	雪稜
	5	初級登山教室オリエンテーション		9	第52回定期総会	山友
	12	初級登山教室座学				
4	15	初級登山教室実技(比良)		16	飯道山～大納言～阿星山	雪稜
	22	初級登山教室実技(金毘羅)		16	御池岳・T字尾根(交流山行)	岳友
				22~23	山菜取り(マキノキャンプ)	ちご
				29	春の公開野点山行 八ヶ峰	雪稜

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ湖行クラブ、OT:山の会オフトレイル

スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀 初級:初級登山教室



2023年3月号の原稿は、2月15日〆切です。
3月号のリレーエッセイと写真の担当は『山友会』です。
原稿の投稿先は 宮内 m-miyauchi@ares.eonet.ne.jp
藤野 kawahaakebono@gmail.com
菅 nokomama.2016@gmail.com
宮内と両名にお願いいたします。

『県連ニュース2023年2月 NO.547号』

発行日：2023年1月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

〒520-0047

大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1F
大津市市民活動センタースモールオフィス内
メールボックス NO13

TEL 080-4971-6231

Email shigarosan@gmail.com

ゆうちょ銀行(店名418)

普通 0239956

<http://shigarosan.jimdo.com/>

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 菅 泉 藤野 健太郎